

中部教育学会

第 64 回大会プログラム

2015（平成 27）年 6 月 20 日（土）

会場：名古屋大学

学会等開催助成：財団法人大幸財団

【大会の日程】

9:30	受付開始
10:00	自由研究発表（全 6 分科会）
12:30	
12:30	理事会／休憩
13:30	
13:30	総会
14:00	
14:15	公開シンポジウム「道德教育を考える」
16:45	
17:00	懇親会
19:00	

お問い合わせ

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

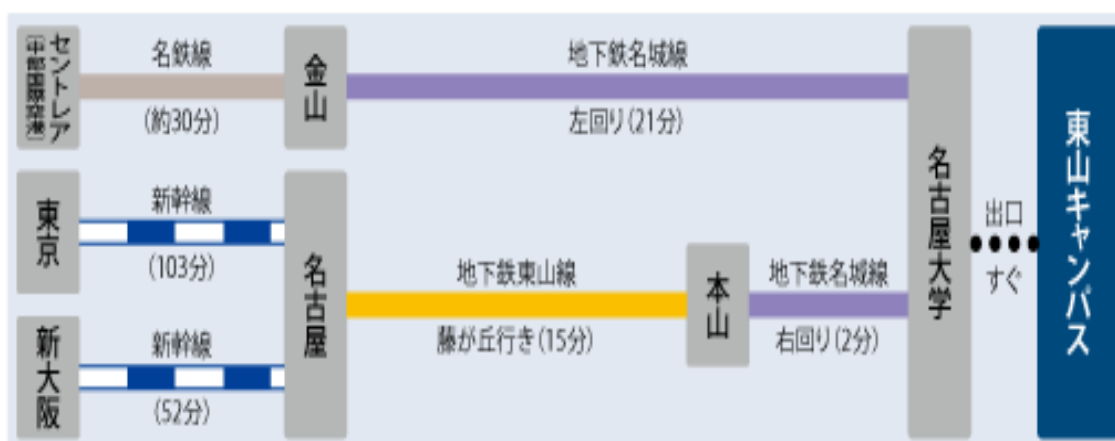
中部教育学会第 64 回大会実行委員会事務局（江頭智宏）

TEL/FAX 052-789-2617（直通） E-mail egashira.tomohiro@c.mbox.nagoya-u.ac.jp

大会参加要領

1. 会場

- ・会場は名古屋大学教育学部（本館・講義棟）と名古屋大学文系共同館です（次頁の「会場配置図」および最終頁の「構内案内図」をご参照ください）。
- ・会場の最寄り駅は名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅です。1番出口より出られてください。



2. 受付

- ・受付開始時間：9:30 より
- ・受付場所：教育学部本館入口
- ・受付にてネームプレートをお渡しいたしますのでご記名の上お付けください。

3. 会費

- ・大会参加費：1,000 円（会員も当日会員も共に参加費は同額です。）
- ・懇親会参加費：3,500 円（事前申し込みの制度をとっていませんので当日奮ってお申し込みください。）

4. 自由研究発表

- ・時間：個人発表－発表 20 分，質疑応答 5 分　共同発表－発表 30 分，質疑応答 10 分
※共同研究であっても口頭発表者がお 1 人の場合は「個人発表」となります。
- ・会場：次頁の「会場配置図」をご覧ください。

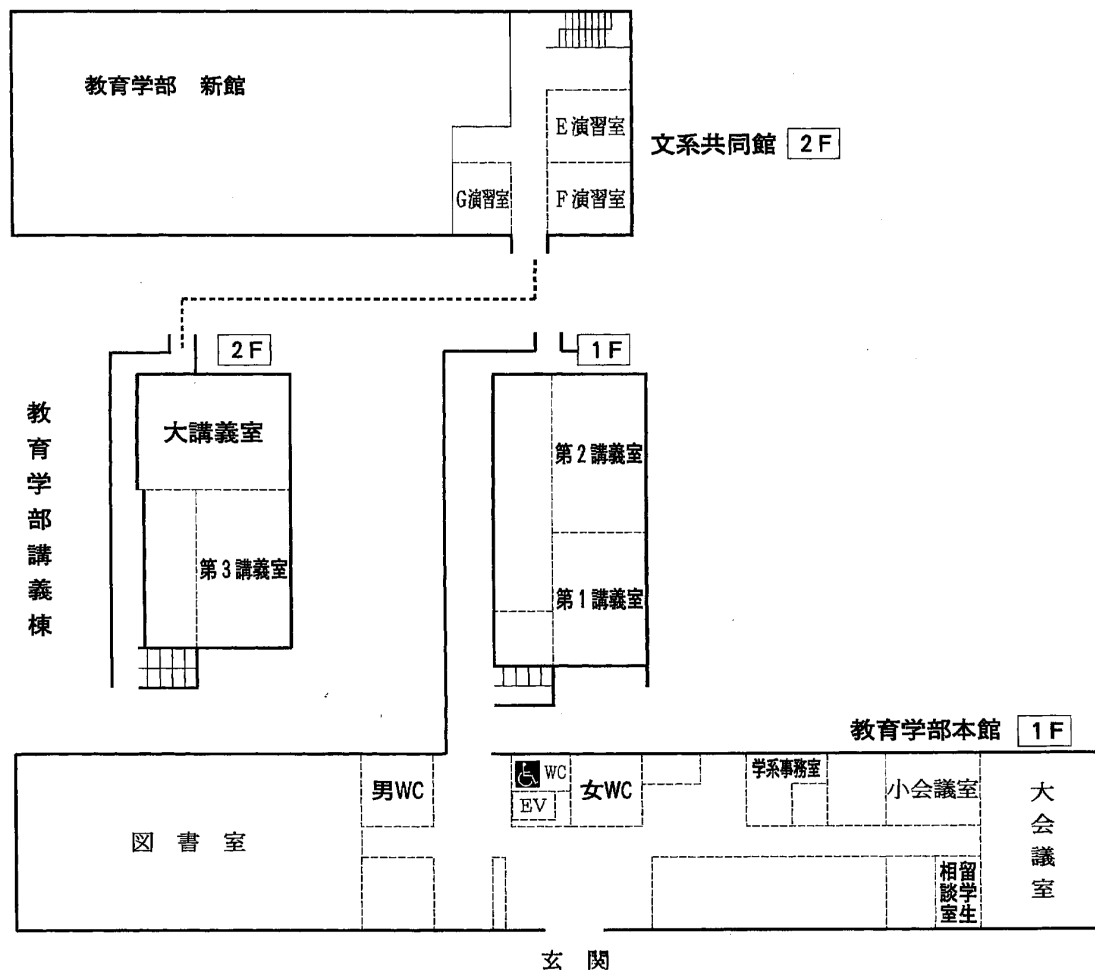
5. 昼食

- ・大学生協南部食堂 1 階 Mei-dining（道路を挟んで教育学部棟の向かい側です）が営業していますのでご利用ください（土曜日の営業時間は 11:00～14:00 です）。

6. 懇親会

- ・教育学部本館大会議室において 17:00 より行ないます。

会場配置図



自由研究発表

- 【第1分科会】第1講義室（講義棟1F）
- 【第2分科会】第2講義室（講義棟1F）
- 【第3分科会】第3講義室（講義棟2F）
- 【第4分科会】E演習室（文系共同館2F）
- 【第5分科会】F演習室（文系共同館2F）
- 【第6分科会】G演習室（文系共同館2F）

理事会

小会議室（本館1F）

総会・公開シンポジウム

大講義室（講義棟2F）

懇親会

大会議室（本館1F）

※会員控え室：大講義室〔「午前の部」のみ開設〕

※大会本部：大会議室

<午前の部> 10:00～12:30 自由研究発表

【第1分科会】(第1講義室)

司会：早川 操 (椋山女学園大学) 伊藤 博美 (名古屋経済大学)

- ①10:00～10:25 東井義雄の教育思想と親鸞 - 「転向」をめぐって -
北島 信子 (桜花学園大学)
- ②10:25～10:50 レヴィナスがひらく貨幣の思想
- 教育における倫理と正義をめぐって -
名取 亮介 (信州大学大学院)
- ③10:50～11:15 「道徳の教科化」に関する一考察
安井 克彦 (名古屋学芸大学)
- ④11:15～11:55 日中の道徳教育の志向性に関する比較
○武 小燕 (名古屋経営短期大学) ○山田 宏 (名古屋大学・非)
- 11:55～12:20 全体討論

【第2分科会】(第2講義室)

司会：大橋 基博 (名古屋芸術大学) 内田 純一 (愛知県立大学)

- ①10:00～10:25 内モンゴル自治区における初等教育誕生期の教授言語
薩如拉 (中部大学大学院)
- ②10:25～10:50 教育令期群馬県における地方教育行政の展開
- 督業教師と学事奨励職員をめぐって -
杉浦 由香里 (滋賀県立大学)
- ③10:50～11:15 名古屋における保育事業のはじまり - 明治から大正にかけて -
北原 和子 (名古屋市立大学大学院)
- ④11:15～11:40 師範学校存廃論争に関する一考察 - 新潟県の事例を中心に -
小田 義隆 (近畿大学)
- ⑤11:40～12:05 戦後新学制発足に先行する全村的中等教育創造の試み
- 長野県の上郷農工技術学校について -
三羽 光彦 (芦屋大学)
- 12:05～12:30 全体討論

【第3分科会】(第3講義室)

司会：山本 理絵(愛知県立大学) 石井 拓児(名古屋大学)

- ①10:00～10:25 おむつ交換における乳児と保育者の関わりについての研究
神谷 良恵(名古屋市立大学大学院)
- ②10:25～10:50 保育園における1歳児の一語発話に関する研究
加藤 信子(名古屋市立大学大学院)
- ③10:50～11:15 幼児の空間的意識の発達段階
－遊び場面の空間と人の関係性に着目して－
二橋 香代子(東海学院大学短期大学部)
- ④11:15～11:40 幼児の造形表現行為の変容過程に関する実践的研究
－3歳児の「貼る」「切る」に着目して－
○川喜田 奈保(豊田花園幼稚園) 上田 敏丈(名古屋市立大学)
- ⑤11:40～12:05 保育現場におけるカリキュラムデザインに関する研究(1)
－幼保連携型認定こども園教育・保育要領
における指導計画の在り方に着目して－
上村 晶(桜花学園大学)
- 12:05～12:30 全体討論

【第4分科会】(E演習室)

司会：豊田 ひさき(中部大学) 坂本 將暢(愛知工業大学)

- ①10:00～10:25 言語表現と絵画表現とを組み合わせた国語科の学習指導
山田 丈美(中部学院大学)
- ②10:25～10:50 算数的表現力を支える場づくり
小木曾 弘尚(豊田市立高嶺小学校)
- ③10:50～11:15 学校行事におけるふり返し活動の現状と認識
－高校教師の語りから見えるもの－
玉木 博章(愛知県立総合看護専門学校・非)
- ④11:15～11:40 中高生のボランティア傾向に関する一考察
－SOC受賞者の活動形態に着目して－
長坂 朋美(信州大学大学院)
- 11:40～12:05 全体討論

【第5分科会】(F演習室)

司会：今津 孝次郎 (愛知東邦大学) 森 透 (福井大学)

- ①10:00～10:25 学習研究社発刊雑誌『女学生コース』にみる
読者の教養と学習意識形成
田中 卓也 (共栄大学)
- ②10:25～10:50 「教養として」の変容 -図書タイトルの分析から-
加藤 一晃 (名古屋大学大学院)
- ③10:50～11:15 高校運動部活動における「体罰」問題に関する研究
長谷川 誠 (神戸松蔭女子学院大学)
- ④11:15～11:40 「指導が不適切な教員」の現職教育に関する調査研究の総括
服部 晃 (岐阜女子大学)
- ⑤11:40～12:05 大学における「第三領域」の職員の専門性に関する一考察
-サイエンスコミュニケーターを事例として-
東岡 達也 (名古屋大学大学院)
- 12:05～12:30 全体討論

【第6分科会】(G演習室)

司会：五島 敦子 (南山大学短期大学部) 長谷川 哲也 (静岡大学)

- ①10:00～10:25 教職をめざす大学生への「道德教育指導」
-具体的な体験を重視した一実践-
栗田 千恵子 (愛知教育大学ほか・非)
- ②10:25～10:50 保育士・教員養成課程における社会人学生の諸相
-進学の動機と成人としての学び-
白山 真澄 (東海学院大学短期大学部)
- ③10:50～11:15 講義型授業受講時における学生の表出行動の内在的意味の解明
須田 昂宏 (名古屋大学大学院)
- ④11:15～11:40 理論と実践の融合をめざした授業改善
-学生授業、リフレクションを取り入れて-
中妻 雅彦 (愛知教育大学)
- ⑤11:40～12:05 あらすじ調査をもとにした大学生の学力に関する研究 (2)
加古 有子 (至学館大学)
- 12:05～12:30 全体討論

＜午後の部＞ 14：15～16：45

公開シンポジウム

(講義棟2F 大講義室)

道徳教育を考える

趣旨

戦前、子どもたちに国家主義的道徳を教え込むうえで大きな役割を果たしてきた修身科が戦後改革において廃止され、新たに誕生した社会科の中で市民的な道徳の養成が行なわれるようになった。しかし1958年には「道徳」が特設され、義務教育の中に位置づけられて現在に至っている。

ところが、今日、道徳教育は新たな局面に立たされている。2014年10月、中央教育審議会が「道徳」の教科化を答申し、2018年度からの実施が日程にのせられることになった。「道徳」の教科化に対しては、国家による価値の押し付けが強化されるのではないか、子どもの「心」を評価することになり思想・信条の自由が侵されることになるのではないか、といったさまざまな問題点が指摘されている。

他方で、道徳教育に対する国民の根強い支持があることも否定できない。その背景には、いじめ問題への関心の高まりに加え、生命科学や情報技術の急速な進展の中で社会規範そのものをめぐって新たな課題が生じているという現実がある。こうした状況において私たちは、道徳なるものと子どもたちとの関係をどのように考え、位置づけていけばよいのであろうか。

「道徳」の特設が社会問題化した1950年代後半から60年代初めにかけて、中部教育学会はシンポジウムのテーマに道徳教育を3度も取り上げた。このことは本学会が教育実践と教育学との関わりの視座から、その時期の課題に積極的に向き合ってきたことを示唆している。こうした歩みを踏まえて、今回再び道徳教育を取り上げ、今日の社会状況や政策動向を踏まえた幅広い視野から考えて行くことにしたい。

シンポジアスト

●藤田昌士（元立教大学）「道徳の教科化」と私たちの課題」

主要著作：『学校教育と愛国心—戦前・戦後の「愛国心」教育の軌跡—』（学習の友社、2008年）、『日本の教育課題4 生活の指導と懲戒・体罰』（編著、東京法令出版、1996年）、『道徳教育—その歴史・現状・課題—』（エイデル研究所、1985年）ほか。

●吉田千秋（元岐阜大学）「道徳をめぐっての二、三の問題」

主要著作：『競争の教育から共同の教育へ』（共著、青木書店、1988年）、『もうひとつの価値観』（青木書店、1997年）、『平和への希い』（生活思想社、2010年）ほか。

●山口 匡（愛知教育大学）「道徳教育と教材：「実例」に関する教育哲学的検討」

主要著作：『学校司書のための教師論』（愛知教育大学出版会、2009年）、『道徳教育21の問い』（共著、福村出版、2013年3月）ほか。

コメンテーター

●鈴木健二（愛知教育大学）

主要著作：『道徳授業づくり上達10の技法』（日本標準、2008年）、『社会科指導案づくりの上達法』（明治図書、1989年）ほか。

司会

藤井基貴（静岡大学） 吉川卓治（名古屋大学）